

ニカメイガ（第一世代幼虫）の多発生に注意!!

近年、坂井地区を中心にニカメイガの被害が発生しています。6月に発生する第一世代幼虫は、心枯れや変色茎の被害をもたらします。

越冬世代成虫の発生は平年よりやや早く、第一世代幼虫の発生も平年より早くなる予想です。育苗箱施薬でニカメイガに効果の高いフェルテラまたはプリンス箱粒剤を処理していない場合は、遅れないよう適期に防除を行いましょう。



幼虫の食入による変色茎

1 発生予想

フェロモントラップにおける捕獲状況から、越冬世代成虫の発生は平年よりやや早く、5月5半旬が発生最盛期と考えられます。

第1世代幼虫による加害は、6月上旬頃から増加する見込みです。

2 防除時期

	防除適期
粉剤、液剤	6月5～10日頃
粒剤	6月1日頃

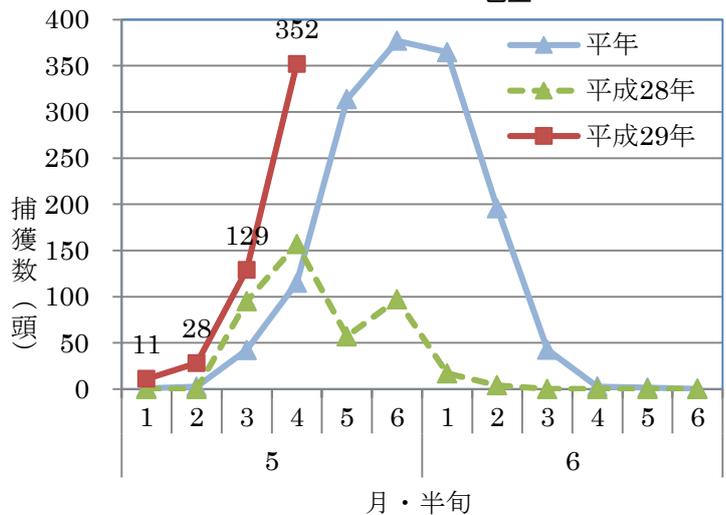


図 フェロモントラップにおける成虫捕獲数 (坂井市)
<http://www.pref.fukui.jp/doc/noushi/kankyo/nikameiga.html>

3 防除薬剤

病害虫名	薬剤名	10a当たり 使用量	使用濃度	注意事項
ニカメイガ 第1世代 (本田防除)	エルサン粉剤3DL	3kg		・粒剤使用の場合は、1週間程度灌水し、かけ流しはしない。また漏水の多いところでは使用しない。 ・パダン粉剤DL、パダン粒剤4、パダンSG水溶剤はナス科野菜、タバコにかからないように注意する。
	パダン粉剤DL	3～4kg		
	パダン粒剤4			
	エルサン乳剤	100ℓ	1,000倍	
	パダンSG水溶剤		1,500倍	

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/SearchF/vtllm000.html>) を確認して下さい